

## 平成21年度 財団法人とやま国際センター事業報告

平成21年度では、引き続き県の国際施策と連携し、下記の事業を推進した。

特に、県内で暮らす外国人の日本語学習支援体制の充実を図るため、地域の日本語教室に日本語教育専門アドバイザーを新たに派遣するなど、日本語ボランティアの支援に努めたほか、南砺市においては外国人のための日本語教室を新たに開催した。

また、当財団が創立25周年を迎えたことから、記念式典及び講演会を開催した。

さらに、大連事務所では、引き続き本県の中国での活動拠点としての運営を行い、環日本海交流会館では、県民が環日本海地域に対する理解を深めるとともに民間レベルの国際交流活動の場として活用されるよう運営した。

また、日本海学推進機構においては、日本海学の普及を図るとともに全国へ情報発信するための活動に取り組んだ。

### 記

- 1 国際理解・研修事業
- 2 国際交流事業
- 3 国際協力事業
- 4 多文化共生事業
- 5 情報サービス事業
- 6 日本海学推進機構事業
- 7 環日本海交流会館管理運営事業
- 8 富山県大連事務所運営事業
- 9 旅券作成関係事業

# 1 国際理解・研修事業

(計画額4,051千円 実績額 2,939千円)

## (1) 語学講座の開催

(計画額2,240千円 実績額 1,887千円)

語学講座を通じて、各国の文化・習慣などの理解を深めてもらい、国際感覚の醸成を図った。

講座名	コース	期間	回数	対象	定員	受講者数
中国語	入門	5/25～3/15	34	初心者	40	16
	初級	5/29～3/19	37	経験者(1年程度)	40	17
	中級	5/27～3/17	36	基礎修得者	15	19
韓国語	入門	5/26～3/16	37	初心者	40	36
	初級	5/28～3/18	38	経験者(1年程度)	40	49
	中級	5/27～3/17	36	基礎修得者	40	23
ロシア語	入門	5/25～3/15	33	初心者	15	23
	中級	5/29～3/19	35	基礎修得者	15	10
ポルトガル語	中級	5/25～3/15	32	基礎修得者	15	11
英語	イングリッシュ・アドベンチャー	5/18～7/6 10/5～12/14	8	高校生対象のネイティブな英会話に触れる場	—	21

開催場所：(財)とやま国際センター研修室

## (2) 国際理解出前講座

(計画額 390千円 実績額 249千円)

地域の国際交流協会や小中高校、大学のほか職業能力開発施設やサークルなどからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し、国際理解を促進するとともにボランティア活動や青年海外協力隊・シニア海外ボランティア制度などもPRした。

開催回数：73回 参加者数：延4,108名

講師：国際交流員、JICA職員、とやま国際理解教育研究会、青年海外協力隊OBなど

## (3) 国際交流サロン

(計画額 236千円 実績額 91千円)

### ① イングリッシュ・チャット

(計画額 186千円 実績額 74千円)

県民と県内で暮らす外国人ゲストが自国の文化や日頃感じていることなどを英語で自由に語りあい、相互理解を深める場を提供した。

開催回数：24回 参加者数 延647人 会場：とやま国際センター談話室

### ② お茶つとルーム

(計画額 50千円 実績額 17千円)

国際交流員のコーディネートにより、各国のお茶などを飲みながら県民が気軽に日本語で交流した。

開催回数：8回 参加者数 延96人 会場：環日本海交流会館

## (4) 小学生のための英語教育

(計画額 380千円 実績額 187千円)

### ① 英語教育セミナー

英語教育に関心のある保護者などを対象に、効果的な英語学習方法などを紹介した。

開催時期：平成21年7月25日(土) 参加者数：12名

講師：富山大学人間発達学部 准教授 岡崎浩幸氏 会場：環日本海交流会館

### ② 夏休みこども英語塾

小学生高学年(5-6年生)を対象に遊びを交えながら英語に親しむ講座を行った。

開催回数：4回(夏休み中) 参加者数：6名 会場：環日本海交流会館

## (5) とやま国際塾

(計画額 620千円 実績額 382千円)

高校生に外国人との交流や活動を通じて、国際理解、国際協力や多文化共生意識を育む機会を提供した。

時期：7月18日(土)～19日(日)2日間 参加者数：高校生16名  
会場：国立立山青少年自然の家

## (6) 市町村職員等国際協力実務者研修

(計画額 185千円 実績額 143千円)

### ① 市町村等国際交流・協力、多文化共生担当課長会議に合せた講演会

時期：5月26日 参加者数 32名 会場：富山県市町村会館  
内容：基調講演：「多文化共生社会の実現に向けて」

講師：杉澤 経子 氏(東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター プログラムコーディネーター)

### ② 市町村等国際交流・協力、多文化構成担当実務者研修

時期：8月19日 参加者数 25名 会場：(財)とやま国際センター 研修室  
内容：講演とワークショップ：

テーマ「外国人と地域住民が互いに理解するために自治体ができること」

講師：榎井 縁 氏(財団法人とよなか国際交流協会 事業課長)

## 2 国際交流事業

(計画額5,443千円 実績額3,746千円)

### (1) 創立25周年記念事業

#### ① 記念式典・講演会

(計画額 1,400千円 実績額1,330千円)

時期：11月15日(日) 会場：高志会館

##### ・ 記念式典

(計画額 400千円 実績額 340千円)

参加者数：財団役職員、国際交流団体関係者等約200人

内容・スライドショー「とやま国際センター25年の歩み」

##### ・ 理事長式辞

・ 県部門功労表彰(国際交流功労) 高岡鳩の会(高岡市)

・ とやま草の根交流賞表彰

団体：(財)日本鳥類保護連盟富山県支部(富山市)、日本語教師会ゆうゆう(富山市)、福野小学校父母と教師の会(南砺市)

個人：日下智子(富山市)、ジャック・リー・ランダル(黒部市)、谷口信夫(南砺市)、中山美幸(富山市)、西本美絵子(魚津市)、二瓶博子(高岡市)、吉田美紀子(富山市)

##### ・ 記念講演会

(計画額1,000千円 実績額 990千円)

講師：NHK解説委員 道傳愛子 氏

「普段着の国際協力を考える」

#### ② 日本海学シンポジウム(再掲)

### (2) 国際交流フェスティバル

(計画額 1,050千円 実績額 1,034千円)

国際交流団体や国際協力団体等の活動状況を紹介するとともに、海外の民族芸能披露などによるフェスティバルを開催し、県民に異文化体験の機会を提供した。

時期：11月7日(土)～8日(日) 会場：CICビル内

参加団体数：32 団体                      参加延べ人数：約 5,500 名  
 主催：国際交流フェスティバル実行委員会

- (3) **草の根国際交流等の活動に対する助成** (計画額 2,015 千円 実績額 808 千円)  
 民間レベルの国際交流や国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、団体等の自主的な国際交流活動や国際協力活動、多文化共生関連事業に対し助成を行った。

団体名	事業名	助成金額 (円)
NPO 法人富山県日中友好協会	2009 富山県中国語スピーチコンテスト	100,000 円
太閤山日本語グループ	ワイワイにほんご・たいこうやま開催事業	200,000 円
アジア子どもの夢	中国四川省大地震被災地交流支援	100,000 円
富山ルーマニア友好協会	ルーマニア民族舞踊の夕べ	100,000 円
高岡市日中友好協会	「歓聚一堂」「談談悦悦」開催事業	100,000 円
南砺ラオス会	ラオス青少年交流事業	100,000 円
富山ウラジオストク会	トヤマ・ウラジオストク友好推進事業	100,000 円
計	7 団体	800,000 円

- (4) **国際交流団体ネットワーク対策** (計画額 525 千円 実績額 255 千円)  
 県内の国際交流や国際協力の団体で構成する「国際交流団体ネットワーク会議」を開催し、団体相互間の情報交換と連携を図るとともに、先導的な活動事例報告を行った。  
 時期：平成 21 年 9 月 25 日 (金) 会場：環日本海交流会館  
 参加者数：26 人 (17 団体)  
 報告事例：「中国四川省大地震被災地への支援」  
 講師 アジア子どもの夢代表 川渕映子 氏

- (5) **地域国際化協会連絡協議会等への参加** (計画額 453 千円 実績額 319 千円 )  
 地域国際化協会が主催する総会、研修会に出席し、国際化情勢や国際化施策について情報収集及び意見交換を行った。

**3 国際協力事業** (計画額 64,543 千円 実績額 62,599 千円)

- (1) **海外研修員等の受入** (計画額 10,855 千円 実績額 10,552 千円)

- ① **海外技術研修員** (計画額 4,765 千円 実績額 4,697 千円)

開発途上国等に対する技術協力の一環として、富山県が受け入れる海外技術研修員に対し、滞在期間中の日常生活等全般にわたり、指導・助言した。

国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1	6 カ月	パレブラン高志会館
ロシア	1	6 カ月	(株)ジェック経営コンサルタント
中国	1	3 カ月	富山市上下水道局

- ② **自治体協力交流員** (計画額 4,003 千円 実績額 3,913 千円)

富山県が受け入れる中国からの公務員に対して、滞在期間中の日常生活の全般にわたり、指導・助言した。

国名	人数	受入期間	研修機関
中国	2	5カ月	富山県農林水産総合技術センター 農業研究所 富山大学極東地域研究センター 環日本海環境協力センター 富山県環境科学センター 富山県環境政策課・環境保全課

**新③ 多文化共生推進研修員** (計画額 2,087千円 実績額 1,942千円)

外国籍児童の学習支援のため富山県が受け入れた多文化共生推進研修員に対し、滞在期間中の日常生活等全般にわたり、指導・助言した。

国名	人数	受入期間	研修機関
ブラジル	1	5カ月	高岡市立野村小学校

**(2) 県費留学生の受入** (計画額 11,879千円 実績額 11,160千円)

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生に対し、滞在期間中の日常生活等全般にわたり、指導・助言した。

区分	人数	受入期間	留学先
ロシア沿海地方留学生	1名	平成21年4月7日～平成22年3月28日	富山大学
中国遼寧省留学生	1名	平成21年4月27日～平成22年3月20日	富山大学
南米移住者子弟留学生	1名	平成21年4月21日～平成22年3月26日	富山大学
県立大学遼寧省留学生	1名	平成21年5月13日～平成22年3月17日	富山県立大学

**(3) 私費留学生への支援** (計画額 19,822千円 実績額 19,052千円)

**① 富山県国際交流奨学金の交付** (計画額 15,979千円 実績額 15,526千円)

・ 私費留学生(ただし、外国政府派遣生、非正規生、他の奨学金月1万円以上受給者を除く。院生を除く在籍2年目以降は成績が上位10%以内の者)に交付した。

大学等在籍者 毎月1万円支給 支給者数 107人

・ 日本語教育機関の学生 毎月3千円支給 支給者数 125人

**② 国民健康保険の加入助成** (計画額 3,643千円 実績額 3,523千円)

私費留学生及び日本語教育機関の学生に対して、国民健康保険加入のための助成金を交付した。

・ 助成額：年額1万2千円

・ 支給者数：私費留学生 166人

：日本語教育機関学生 124人

**③ 留学生の住宅確保への支援** (計画額 200千円 実績額 3千円)

留学生が安定した居住環境で安心して留学生活が営めるよう、住宅の賃貸借契約を行う際に、とやま国際センターが連帯保証人となった。

連帯保証引受件数 36件

**(4) 婦翔会奨学金の支給** (計画額 200千円 実績額 200千円)

富山県婦翔会からの寄付金を原資として、遼寧省内の日本語を学ぶ大学生及び高校生に対し奨学金を交付し、両県省の交流を促進するための人材育成を図った。

奨学金交付者数 大学生5名、高校生5名 (平成21年度までの交付累計 74名)

**(5) NOWPAPへの協力** (計画額 14,115千円 実績額 13,979千円)

国際連合の機関であるNOWPAP(北西太平洋行動計画)地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援する。

<b>(6) 海外移住者及び関連団体への支援</b>	(計画額 7,567千円 実績額7,551千円)
①富山県南米協会活動費補助金	1,500,000円
②富山県海外移住家族会活動費補助金	4,680,542円
③ブラジル富山県人会補助金	900,000円
④アルゼンチン富山県人会補助金	270,000円
⑤ペルー富山県人会補助金	100,000円
⑥とやま国際センター活動費	100,000円

<b>(7) 青年海外協力隊事業への支援</b>	(計画額 105千円 実績額 105千円)
・ 青年海外協力隊富山県OB会活動補助金	105,000円

#### **4 多文化共生事業** (計画額 10,772千円 実績額 10,097千円)

<b>(1) 外国人のための生活相談等の実施</b>	(計画額2,890千円 実績額2,301千円)
----------------------------	-------------------------

##### ① 在住外国人生活相談事業

県内在住外国人が生活するうえで必要な情報や日常の悩みなどを母国語で気軽に相談できるよう外国人生活相談員や国際交流員を配置し、相談業務を行った。また射水市にウルドゥ語(パキスタン)交流支援員を配置した。

(対応言語) 英語、中国語、ポルトガル語、韓国語、ロシア語、ウルドゥ語

内 容 相談者国籍	在 留 関 係	婚 姻	医 療	情 報	労 働	福 祉	住 宅	保 険	税 金	教 育	交 通 事 故	法 律	そ の 他	合 計
ブラジル	26	9	32	83	60	17	40	31	41	14	5	2	28	388
中国	3	9		3	13					2			2	32
ペルー				4						1				5
ボリビア	1				1				1					3
その他	5	4	5	10	5	1	5	1	2	4	1		8	51
合計	35	22	37	100	79	18	45	32	44	21	6	2	38	479

##### ② 相談リアルタイムサポート

三者間通話機(トリオフオン)を活用し、リアルタイムで相談を解決できるよう具体的な照会先となる機関等へ相談者の通訳サポートを行った。利用件数:95件

##### ③ 外国人相談員派遣事業

市町村と連携し、出前相談を実施し、生活相談の利便を図った。

時期:6月14日(日) 相談件数:7件

会場:高岡市(在名古屋ブラジル連邦共和国一日移動総領事館開催に合わせて)

<b>(2) 日本語ボランティアの育成・支援</b>	(計画額 2,140千円 実績額2,140千円)
----------------------------	--------------------------

① 生活支援日本語ボランティアの養成	(計画額 948千円 実績額 948千円)
--------------------	-----------------------

外国人のための日本語教室のボランティアとなる人材育成のため、養成講座を開催した。

##### ・生活支援日本語ボランティア養成講座(富山)

時期:7月23日~10月8日 開催回数:10回 受講者数:24名

会場:環日本海交流会館

・生活支援日本語ボランティア養成講座 in 南砺 (地域編)

時期：前期 5月16日～6月13日 開催回数：6回

後期 (フォローアップ勉強会) 10月24日～2月27日 開催回数：6回

会場：南砺市福光福祉会館 受講者数：18名

新② 日本語ボランティアのスキルアップ講座 (計画額 501千円 実績額 501千円)

地域の日本語教室などで既に活動している日本語ボランティアの一層の資質向上を図るため講座を開催した。

・じっせん勉強会の開催

テーマ「外国籍子どもへの日本語支援について」をテーマに勉強会を行った。

時期：8月29日～9月29日 開催回数：5回 受講者数：47名

会場：環日本海交流会館

・ボランティア・リーダーのための勉強会の開催

地域の日本語教室の持続的な発展を促進するために何が必要かなどをテーマとした勉強会を開催した。

時期：11月28日 会場：環日本海交流会館

講師：文化庁文化部国語課 山下 隆史氏 受講者数：地域の日本語教室5団体 8名

新③ 日本語教室アドバイザーの派遣 (計画額 691千円 実績額 691千円)

ボランティアが主体的に活動している地域日本語教室の安定的運営とスキルの向上を図るため、日本語教育専門アドバイザーを派遣した。

・派遣先：日本語ボランティア in 氷見、日本語教室 in 黒部、太閤山日本語グループ

・派遣回数：年間各10回

(3) 災害時の外国人支援日本語ボランティアの育成 (計画額 300千円 実績額300千円)

災害(震災を想定)時に支援活動拠点や避難所等において、在住外国人に対して、「やさしい日本語」による情報提供を行うことができるボランティアの養成を行った。

時期：10月31日 会場：高岡市生涯学習センター 受講者数：34名

(4) 外国人のための日本語教室 in 南砺 (計画額 1,455千円 実績額 1,446千円)

南砺市で外国人のための日本語教室を開催した。

時期：7月5日～3月14日 開催回数25回

会場：福光福祉会館 受講者数：41人 (入門18人、初級23人)

(5) 外国人への防災情報の提供 (計画額 3,300千円 実績額3,276千円)

防災情報や生活情報を提供するラジオ番組「BOUSAI RADIO」を5カ国語で制作し放送した。

放送日時：毎週日曜午後8時～8時10分

放送局：FMとやま 放送回数：計52回

放送言語：英語、中国語、ポルトガル語、韓国語、ロシア語

内容

防災情報：台風や集中豪雨、地震などに対する備え、非常時持ち出し品の準備など

生活情報：新型インフルエンザ、緊急時の連絡、ゴミの出し方など

(6) 多文化共生サポーター養成講座の開催 (計画額 417千円 実績額364千円)

外国籍児童生徒の課外活動を支援する多文化共生サポーターの育成のための研修会を開催した。

受講者数：42人

時期：7月26日、8月1日、8月2日、8月8日 会場：小杉社会福祉会館、射水市中央図書館

(7) 多文化共生理解教室の開催 (計画額 270千円 実績額270千円)

地域に住んでいる外国人住民が講師となって、出身国の生活習慣や文化などを地域の日本人住民等へ直接語りかける教室を開催した。

時期	会場	テーマ	参加者数
9月29日	高岡市川原公民館	フィリピンの文化を理解する	10人
2月20日	砺波市太田公民館	ニカラグアの文化を理解する	45人
2月28日	入善町6区公民館	カナダの文化を理解する	14人

5 情報サービス事業

(計画額 2,395千円 実績額 2,222千円)

(1) 情報紙の発行 (計画額 2,190千円 実績額 2,078千円)

・「What's Happening」

内容：県内で開催される各種国際交流イベントや国際交流事業等を紹介

発行言語：英語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、日本語

発行部数：毎月 2,670部

・「TIC NEWS」

内容：県内の国際交流・国際協力に関する情報、国際交流団体の活動、海外からのレポート、とやま国際センターの事業等を紹介

発行部数：年4回 2,000部

(2) 国際交流人材バンク (計画額 145千円 実績額 143千円)

・通訳・翻訳・日本語指導・ホームステイ・海外事情の紹介ができる人材の登録と紹介を行った。

紹介実績		
区分	件数	内訳(人)
通訳者	26件	英語(14) 韓国語(10) 中国語(6) ロシア語(2) ポルトガル語(1) 台湾語(2) タイ語(1) タガログ語(1) スペイン語(1) 等 計:38人
翻訳者	30件	英語(15) ロシア語(2) 中国語(2) ポルトガル語(2) フランス語(2) タガログ語(3) ウルドゥ語(1) ギリシア語(1) 台湾語(1) マレー語(1) 計:30人
ホストファミリー	5件	利用者の国籍 中国(2) ロシア(1) スリランカ(1) バーレーン(1) インド(1) 計:6人
日本語指導者	3件	利用者の国籍 中国(1) パキスタン(1) インドネシア(1) 計:3人
海外事情紹介者	5件	ブラジル(3) アメリカ(2) イギリス(1) ロシア(1) ドイツ(1) 等 計:8人

・通訳者登録者の資質向上のためのセミナーを開催した。

時期：12月6日(日) 13:30-15:30 会場：環日本海交流会館

受講者数：32名

内容：講演、ワークショップ「地域で必要な通訳の現状、地域の通訳者として必要な資質」  
 講師 水野 真木子 氏（金城学院大学文学部教授、日本英語医療通訳協会会長）

## 6 日本海学推進機構事業

（計画額 11,909千円 実績額 11,685千円）

### (1) 日本海学推進機構活動費

（計画額 3,700千円 実績額 3,060千円）

#### (ア) 運営委員会

- ・時 期：4月20日 ・会 場：富山県民会館 ・出席者：委員8名、アドバイザー1名、知事ほか
- ・議 題：
  - ・日本海学推進機構会長の選出（青柳 正規氏）
  - ・平成20年度事業実施結果、平成21年度事業実施計画案ほか

#### (イ) ホームページによる普及活動

日本海学推進機構のホームページにおいて、日本海学に関する催し物の案内や「富山湾60秒シアター」と題し海の生き物等の様子を映像として配信するなど日本海学に関する情報発信を行った。

### (2) 日本海学講座（県内）

（計画額 650千円 実績額 730千円）

県民に日本海学について理解を深めてもらうために、比較的少人数を対象とした講座を実施した。特に、平成21年度は、新規の取組みとして、親子料理教室を実施した。

通常講座	講 師	時期：会場	参加者数
古事記・風土記に見る日本海文化	三浦佑之（立正大学文学部教授）	5/23：県民会館	78名
北陸の野生生物について～モグラがいる、クマが出る、イノシシがやってくる～	横畑泰志（富山大学大学院理工学研究部准教授）	2/6：県民カレッジ高岡地区センター	52名
特別講座			
【野外講座】 キトキト新湊の魚と内川遊覧	近畿大学水産研究所富山実験場の方々ほか	10/22：射水市新湊地区	19名
【親子料理教室】名人が手ほどき、フクラギ丸ごと料理教室	釣 賢一（県認定とやま食の匠）ほか	11/7：県民会館料理室	29名

### (3) 日本海学講座（県外）

（計画額 150千円 実績額 180千円）

県外における日本海学の発信を目的として、比較的少人数を対象とした講座を開催した。

講 座	講 師	時期：会場	参加者数
北前船が運ぶ、海の幸 ～昆布屋さんの熱いはなし～	四十物直之（株式会社四十物昆布代表取締役）	10/16：東京ミッドタウン	42名
		10/17：いきいき富山館情報館	

### (4) 日本海学シンポジウム（財団創立25周年記念事業）

（計画額 2,000千円 実績額 2,361千円）

- ・時 期：11月28日 ・会 場：タワー111 スカイホール
- ・テーマ：「海とさかなと私たち～先人と世界に学び、未来へつなぐ～」 ・参加者数：187名
- ・概 要：
  - ・特別企画 祝謡「新湊めでた」（新湊めでた保存会）
  - ・講演Ⅰ「地域と地球から考える海の幸」講師：秋道智彌（総合地球環境学研究所副所長）ほか3つ
  - ・パネルディスカッション「海とさかなと漁業の未来に向けて」

(5) 大学講座等推進事業 (計画額 600千円 実績額 564千円)

(ア) 富山大学

日本海学推進機構などが企画し、2009年に発行した「自然と経済から見つめる北東アジアの環境」をテキストとした日本海学の講義を後期に実施し、外部講師を派遣した。

・講師：川田 邦夫（富山大学名誉教授）ほか1名 ・受講者数：約70名

(イ) 富山国際大学

・「地域環境論—総合学としての日本海学を含む—」（前期開講）の講義に外部講師を派遣した。

・講師：中村 浩二（金沢大学環日本海域環境研究センター長）ほか5名 ・受講者数：約60名

(ウ) 富山県立大学

\* 「環境論Ⅰ」（工学部1年生必修）（前期開講）の授業に外部講師を派遣した。

・講師：張 勁（富山大学大学院理工学研究部教授） ・受講者数：230名

\* 「富山と日本海」（工学部3年生選択）（前期開講）の授業に外部講師を派遣した。

・講師：大田 希生（水中カメラマン）ほか1名 ・受講者数：80名

(6) 日本海学学生フィールド講座 (計画額 700千円 実績額 772千円)

・日本海学の若い世代への普及を図るため、大学生等を対象とした野外講座を開催した。

\* 森の部；・時 期：8月11、12日 ・会 場：有峰森林文化村 ・受講者数：14名

\* 海の部；・時 期：8月20、21日 ・会 場：富山商船高専練習船「若潮丸」他・受講者数：18名

(7) 日本海学研究グループ支援事業 (計画額 3,400千円 実績額 3,367千円)

・日本海学の研究・普及活動のすそ野を広げるため、地域に根ざした研究や普及・実践活動を行おうとするグループ・団体に対して、研究活動や論文の作成、講演会の経費について助成し、研究発表の機会を与えた。なお、21年度には特別奨励事業を新設し、顕著な実績を残して終了し今後も発展が期待されるグループ・団体に対し、2年間助成を継続することとした。

(ア) 平成21年度助成（応募23件、助成11件、助成総額3,000千円）

申請者	事業名等
和船建造技術を後世に伝える会 代表 番匠 光昭	和船建造技術を後世に伝える会調査報告書刊行事業
龍 世祥	地域的共通価値の創出メカニズムに関する実証的調査研究
日本海民族音楽研究会 代表 中山 妙子	日本海地域の民族音楽研究
日本海学遊友セミナー塾実行委員会 代表 松原 隆光	日本海学遊友セミナー塾
山本 麻希	オオミズナギドリ繁殖生態を指標とした日本海の海洋環境モニタリング
中村 由克	先史時代における『日本海文化』成立にかかわる石器石材環境の基礎的研究
小川 光彦	日本海域発見礎石による海域間交流の研究
柏木 健司	富山県黒部峡谷における鍾乳洞の地球科学的総合解析
林 節男	図書出版「干柿加工から見つめる環日本海」
食育研究会いただきます！ 代表 澤井 保子	日本海の恵みを知る！とやま食育ツールの作成事業
鳥山 成一	立山等における東アジア由来の大気汚染物質等の把握

(イ) 平成20年度助成の発表会・時 期：5月9日 ・会 場：富山県民会館 ・受講者数：51名

## (8) 日本海学ホームページリニューアル(機構への委託事業)

(計画額 709千円 実績額 651千円)

(ア) 概要：雇用交付金を活用した県から日本海学推進機構への委託事業により、平成21年度から22年度にかけてホームページのリニューアルを行うこととした。

(イ) 2 箇年の計画：デザインの一斉及びテキスト・画像・レイアウト情報等を一元的に管理する機能(コンテンツマネジメントシステム)の導入を中核として、下のとおり取り組む。

- ・21年度…仕様書作成及び資料収集、原稿作成
- ・22年度…ホームページリニューアル作業及びデータ移行
- ・資料収集、原稿作成及びデータ移行作業のため、国の緊急雇用制度を活用し、嘱託職員を平成22年2月に1名採用した。

## 7 環日本海交流会館管理運営事業

(計画額25,190千円 実績額16,830千円)

### (1) 施設管理運営費

(計画額20,500千円 実績額12,344千円)

県民が環日本海地域について理解を深めるとともに、外国人相互の交流、外国人と県民との交流を推進する場としての運営を行った。また、国際交流・国際協力に関する図書、雑誌、ビデオ、インターネットなどの情報媒体を活用し、富山県をはじめ諸外国の情報提供を行った。

- ・総利用者数 19,846人

#### ① 一般利用者数

(単位：人)

午前	午後	夜間	合計
5,564	3,810	3,483	12,857

#### ② 会議室利用者数

808件 6,989人 (うち、大会議室利用 89件 1,662人)

#### ③ 図書、ビデオテープ等の利用件数

区分	図書	ビデオテープ	DVD	CD	カセットテープ
利用件数	709	80	155	30	4

再掲 (2) 小学生のための英語教育 (計画額 380千円 実績額 187千円)

再掲 (3) 日本語ボランティアの育成・支援 (計画額 2,140千円 実績額 2,140千円)

再掲 (4) 災害時の外国人支援日本語ボランティアの育成

(計画額 300千円 実績額 300千円)

再掲 (5) 外国人のための日本語教室 in 南砺 (計画額 1,455千円 実績額 1,446千円))

再掲 (6) 多文化理解教室の開催 (計画額 270千円 実績額 270千円))

再掲 (7) 国際交流人材バンク (計画額 145千円 実績額 143千円))

## 8 富山県大連事務所運営事業

(計画額 20,445千円 実績額 17,877千円)

### (1) 経済交流の推進

① 訪問・来訪等による情報収集等 延412件 (訪問…279件、来訪…183件)

- ・ 日系の企業及び関係機関……………277件
- ・ 中国系の企業及び関係機関……………185件

② 各種ミッション等に対する協力・支援

- ・環日本海経済交流センターミッションほか

③ 各種商談会、セミナー等の調査・視察

- ・日中地域間交流推進セミナーほか

④ 観光客の誘致

- ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等  
広州国際旅游展覧会などの観光イベントへの参加  
JNTOとの連携による県観光資源説明の実施（青島、大連）ほか

⑤ その他

- ・大連富山企業会の開催（6/12、9/4、12/4、3/5）  
セミナー、意見交換会等の開催  
富山・神奈川合同交流会（3/5）
- ・富山県物産販売への支援  
富山県物産大連展示会（5/16～27）の開催支援  
中国での深層水関連商品及びミネラルウォーター販売支援など
- ・県内企業と中国企業との合作マッチング（置き薬、印刷、わらじ、FRPほか）

(2) 各種交流事業への支援

- ① 学術研究交流団等の来訪時の研修・説明等への協力
- ② 要人等の来訪時の対応

(3) 富山ファン倶楽部の活動

- ① 総会の開催（5/18、瀋陽）
- ② 大連富山企業会と富山ファン倶楽部会員との交流会の開催（12/4 大連）
- ③ 会員への富山県情報の提供（8月よりブログ運営開始）
- ④ 会員名簿の更新、新規会員の加入促進（22年4月現在会員数280名）

**9 旅券関係事業**

計画額 2,508千円 実績額 2,344千円

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務、旅券に係る定期報告、統計資料の作成業務など旅券に関する業務を富山県旅券センター及び高岡支所で行った。

(旅券発行状況)

区 分	平成 21 年度(件)	平成 20 年度(件)	対比(%)
新規発給	25,023	25,575	97.8%
渡航先追加	0	0	
査証欄増補	57	53	107.5%
訂正	392	413	94.9%
	25,472	26,041	97.8%